



京都市緑のボランティアセンターでは、緑のボランティア活動や地域での活動に役立てていただくため、緑に関する情報や取組みをご紹介します。

## 公園愛護協力会の活動紹介 —— 上堀川公園愛護協力会

北区にある上堀川公園では、2021年に大規模なリニューアルが行われました。今回は12月3日の活動日に公園を訪ね、会長の加納健司氏に公園愛護協力会の活動などについてお話を伺いました。

### 「学区清掃」で4ヶ所を清掃

取材当日は、紫竹自治連合会(2008 年発足)による今年度第3回目の「学区清掃」が行われました。清掃場所は、上堀川公園、緑町公園、市立紫竹小学校のグラウンド、外周道路の4箇所で、拠点である上堀川公園に入ると、大量の清掃用具が目にとまりました。

開始時刻が近づくにつれ、次々と参加者が集まり、最終的には幅広い世代の約50人が集まりました。集合後、ラジオ体操を行い、町内会ごとに担当の清掃場所に向かいました。上堀川公園では、約20名が植樹帯やシバザクラの花壇の上に降り積もった落ち葉を掃きとり、1時間もしないうちに、園内がきれいになりました。



上堀川公園を清掃する参加者

### 「めんどくさいが大事」

手入れのきっかけについて、加納会長は「以前の上堀川公園の植栽は鬱蒼としており、何とかできないかと考えて、平成17年7月1日に、公園愛護協力会を結成しました。」とお話されました。初めは一人で活動されていましたが、徐々に手伝ってくれる人が増えたとのことで、地域ぐるみで清掃ができる体制を作り上げられました。

清掃参加者には、親子や子どもが目立ちます。地元の少年サッカーチームやミニバスケットクラブも参加しており、時には、紫竹小学校以外の小学生の参加もあるそうです。「みんなでやるからこそ公園がきれいになるということを、実際に



上堀川公園からそれぞれの持ち場へ向かう参加者

に参加してもらって、子どもたちに理解してもらうことが大事です。」とお話され、若い世代に活動が継承されることを強く意識しておられました。「町内会では、今日の学区清掃以外にも数多くのイベントを企画し、開催しています。これらのイベントに、面倒であっても、ちょっとだけ顔を出してほしい。昨日も、紫竹小学校でイベントを行い、『めんどくさいが大事』というテーマでお話したところです。」とおっしゃっていました。



大人も子どももいっしょになってシバザクラの花壇に降り積もった落ち葉を掃く



園内には、地元小学生作成の手書きイラスト看板が設置されています

## 上堀川公園について

上堀川公園は、北区紫竹上本町他にある広さ2,640m<sup>2</sup>の街区公園(旧児童公園)で、1943年に設置されました。設置から78年を経た2021年には、再整備工事を実施しました。

再整備では、子ども向けの複合遊具、ブランコ、鉄棒、砂場などを設置したほか、ウォーキングコースとなる周回園路や健康遊具を設置し、健康づくりの環境を充実しました。また、災害への対策として、かまどベンチやマンホールトイレを設置しました。

公園内の樹木については、地域に親しまれているサクラやモミジを保存しながら、新たにサルスベリやハナミズキ、シバザクラなどの四季の彩りを感じる花木を植栽しました。



◀ 上堀川公園の位置と「学区清掃」の各活動場所(緑色で示した部分)

▼ 清掃後の緑町公園の様子。この公園は1940年に設置され、中央にある社が特徴です。



上堀川公園を南側から望む。

写真の右側に写る「クライミングスライダー」はリニューアル前からある遊具で、公園のシンボルになっています。

公園愛護協力会、街路樹サポーターの皆様へ

### ボランティア袋(45L)の利用について (京都市からのお願い)



いつも落ち葉等の清掃に御協力をいただきありがとうございます。

ボランティア袋(45L)の利用に当たっては、以下の点に御注意いただきますよう、よろしくお願いします。

- 砂や石、土砂などは入れないでください。(処分先で受け入れてもらえません)。
- 長い枝がある場合は、60cm以下に切ったうえで、紐で束ねるか、ボランティア袋に入れてください(処分先で受け入れてもらえません)。
- ボランティア袋は満杯にせず、7~8割を目安に御利用ください。

#### 【ボランティア袋の回収について】

- ・ 繁忙期や回収袋が多い場合は、回収に時間を要したり複数回に分けて回収する場合がありますが、御了承ください。

(公園愛護協力会の皆様へ)

- ・ 概ね週に1回の頻度でボランティア袋の回収を行っていますので少量の場合、御連絡不要です。
- ・ 回収する袋が多数の場合(20袋以上の場合)は、調整を行いますので、御連絡いただきますよう、お願いします。

お問い合わせ、回収の御連絡は、所管の土木みどり事務所までお願いします。

## 公園などの街中でもみかけるきのこ ― ツチグリ

きのこは梅雨時や秋に多くの種類が見られますが、様々な種類があり、それぞれみられる時期が異なるため、一年中見られます。ここではこの時期にみられるかわいらしいきのこ―ツチグリをご紹介します。

ツチグリは地上に生えるきのこで、まとまった植樹帯があれば公園でも生えることがあります。栗に似た形が特徴です。

形だけでなく繁殖する方法も面白いです。成熟すると頂点に小さな穴があき、雨粒などの衝撃が与えられるとその穴からほこりのように胞子を飛ばします。



ツチグリ  
出した胞子で茶色い粉がかかったように見えます

## 縁起物 ― 名前に「両」がつく植物

12月から1月にかけて、ヤブコウジやヤブコウジを使った正月の寄せ植えが園芸店で出回ります。ヤブコウジには「十両」の別名があります。ほかに「万両」など「〇両」の名または別名を持つ植物をご紹介します。どれも背丈が低いのですが、いずれも樹木で、赤色の実がつくので、縁起が良いとされ、園芸植物として使われることもあります。

### サクラソウ科以外の種



アリドオン(アカネ科)「一両」は別名です。枝は細かく分かれて小さな葉が密につき、鋭い棘があります。  
(写真は変種のオオアリドオンです)



センリョウ(センリョウ科)ヤブコウジの仲間とは違う植物で、果実は葉よりも上につきます。



ヤブコウジ(サクラソウ科)背丈はアリドオンよりも小さく、一株に果実が1〜3個根元につきます。



カラタチバナ(サクラソウ科)百両は別名です。ほかのヤブコウジの仲間に比べ、葉は幅のわりに長いのが特徴です。



マンリョウ(サクラソウ科)幹の頂点に枝葉を茂らせ、葉のふちはボコボコと盛り上がります。

# 春の七草

前号の「秋の七草」に続き、春の七草もご紹介いたします。

街中ではあまりみられない種セリやコオニタビラコは田んぼの中やその周辺に生えることが多く、特にセリは水気のあるところを好んで生えます。



ほとけのざ(コオニタビラコ)



セリ

畑で栽培され、普通は野に生えない種



スズナ(カブ)



すずしろ(ダイコン)

▲ダイコンは比較的葉の切れ込みが深く、花は白色です。カブは葉の切れ込みが浅くて全体に丸く、花は黄色です。



ナズナ



はこべら(ハコベ)

街中でもみられる種  
春の七草は、種類によっては身近な場所でもみられます。ナズナ、ハコベグサ、ハコベは田畑や野原によく生えますが、庭や公園などでもみられます。特にハコベは道路と電信柱とのすき間などに生えることもありま。一般に「雑草」と呼ばれているものが多いですが、意外に山林ではほとんどみられません。人の手が頻繁に入る場所に生える植物です。



ごぎょう(ハハコグサ)

## 「未来の京都まちづくり推進表彰」受賞者

京都市では、安心・安全で持続可能な都市の発展を支える道と公園・緑の創造の推進に貢献し、特に他の模範と認められる団体を、京都市自治記念式典において表彰しております。今年度は、以下の公園愛護協定会14団体と、街路樹サポーター1団体が受賞されました。

### 公園愛護協定会

鹿ノ下公園 (北区)  
壬生檜公園 (中京区)  
植松公園 (下京区)  
大般若公園 (西京区)  
開土公園 (伏見区)

翔鸞公園 (上京区)  
六原公園 (東山区)  
北岩本公園 (南区)  
南福西公園 (西京区)  
中山公園 (伏見区)

一乗寺公園 (左京区)  
甲ノ辻公園 (山科区)  
衣手公園 (右京区)  
際目公園 (伏見区)

### 街路樹サポーター

百々地域女性会 (山科区)



昨年度(令和4年度)式典の様子  
(場所…ロームシアター京都)

### 京都市緑のボランティアセンター

お気軽に  
ご相談  
ください

電話: 075-352-2535(梅小路公園内専用回線)  
場所: 梅小路公園緑の館 2 階ロビー(京都市下京区観喜寺町56-3)  
時間: 午前 9 時～午後 5 時まで 月曜日を除く毎日(年末年始12月28日～1月4日休み)



京都市公園制度制定150周年  
150TH ANNIVERSARY